

2025年2月10日

各位

会社名：リスクモンスター株式会社  
代表者名：代表取締役社長 藤本 太一  
(コード番号：3768 東証スタンダード)  
問合せ先：財務経理部  
(TEL 03-6214-0331)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2024年11月8日に公表いたしました2025年3月期業績予想を修正いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

### 記

#### 1. 2025年3月期通期連結業績予想の修正（2024年4月1日～2025年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	3,700	200	200	△1,160	△156.10
今回修正予想（B）	3,720	260	265	△1,080	△145.34
増減額（B－A）	20	60	65	80	—
増減率（％）	0.5	30.0	32.5	—	—
（ご参考）前期実績 （2024年3月期）	3,666	300	290	160	21.48

#### 2. 修正の理由

与信管理サービス事業の新規の会員数は増加しており、また、6月より、与信判断ツールである「e-与信ナビ」を新価格体系で提供を開始、順次「商業登記PDF」の機能や情報等を追加、提供データを拡充させて提供し、料金改定後のe-与信ナビの利用状況は堅調に推移しているものの、既存会員のサービス利用が低調に推移しました。そういった中でも反社チェックヒートマップや、反社チェックのコンサルティングサービスが順調に推移しており、与信管理サービス事業全体では、前期並みに推移しております。

また、BPOサービス事業は新規案件の引き合いが増えており、新規のスポット案件を受注したこと、その他サービスは中国における信用調査レポートやグループのコスト削減を担うオフショア開発が堅調に推移していることから、連結の売上高は当初の予定を上回る予定です。

利益につきましては、サービスシステム増強及びデータベースの充実を図るため企業情報取得の強化を継続しており、それらに係る原価が増加しているものの、当初の予定に比べコストは抑えられて推移していることから利益も積み上がっております。第4四半期につきましては、マーケティングの先行投資を行う予定であることから、第4四半期の利益を押し下げる見込みです。

なお、株式会社東京商工リサーチが当社を被告として東京地方裁判所に訴訟を提起した件につきまして、2024年9月2日（判決正本送達日：2024年9月4日）に第一審判決を受けました。当社は、当該判決の一部を不服として東京高等裁判所に控訴しておりますが、東京地方裁判所からの第一審判決額等将来発生する可能性のある損失見込額を特別損失（訴訟関連損失）として計上しております。引き続き当社の主張が認められるよう当社の正当性を主張してまいります。

配当につきましては、前回公表値（1株当たり15.00円）より変更はありません。

当社は従来より株主の皆様への利益還元を重要な経営課題と位置付けており、今後も安定的な配当を継続することと、還元を実現してまいります。

（注）上記の業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

以上